

勧告への対応状況に関する本報告について

1. 背景

平成 20 年 2 月に、世界遺産センター及び IUCN による知床の現地調査が行われ、今後の知床の保全管理に対する助言として 17 の勧告をともなう保全状況報告書がとりまとめられた。勧告への対応状況については、平成 24 年の第 36 回世界遺産委員会でその実施状況を検討するため、平成 24 年 2 月までに UNESCO 世界遺産センターに本報告を提出することとなっていた。

前回会議において構成について議論、その後メーリングリストで御意見をいただき、平成 24 年 1 月 13 日に本報告を提出、1 月 27 日に UNESCO 世界遺産センターに受理された。

2. 本報告の構成

- 前文
- 本文：中間報告に図表、コラムを追加
- 別添
 - 1：知床世界自然遺産地域管理計画
 - 2：知床半島エゾシカ保護管理計画
 - 3：知床半島世界自然遺産地域 多利用型統合的海域管理計画
 - 4：河川工作物の改良結果と効果について
 - 5：知床生態系維持回復事業計画の策定について
 - 6：知床五湖における取組み
 - 7：長期モニタリング計画（案）及び別表